

# お年寄り冬の生活安心

豪雪地の十日町市松之山天水越に、冬季にお年寄りが共同生活する温泉付きの「高齢者憩いの家」が完成した。老朽化した前の共同住宅の隣接地に市が建設したもので、現在は屋根の雪下ろしなどが困難な一人暮らしの5人が入居。生活を共にしながら春の訪れを待つ。



## 十日町・松之山 共同住宅が完成

県内でも珍しい冬季の高齢者共同住宅は、合併前の松之山町が1974年に建設した浴場付き福祉施設「老人憩いの家松寿荘」が前身。88年から冬季共同住宅を併設し、冬場の一人暮らしに不安がある高齢者を受け入れてきた。

## 交流スペース 温泉も完備

木造2階建て。地元住民の要望を受け、松之山温泉の源泉を引き込んだ。1階に一般の住民も利用できる温泉や交流スペースがあり、2階に共用台所などの住宅部分がある。入居期間は12月～3月で、冬の生活に不安がある65歳以上の市民が対象だ。夫婦で住める部屋も含め6部屋あり、定員は8人。昨年末から松之山地域を中心に70～80代の5人が入居し、1カ月8千円（光熱費や1回50円の入浴料などは別）で共同生活を送る。

松代地域から入った美濃和あつさん(84)は「昨年秋に夫が急死し、埼玉の娘のところに行くのも考えたけれど、やはり近くがいい。雪の心配は要

入館料は1回500円、65歳以上の市民は300円。月曜休館。問い合わせは市松之山支所市民課、025(596)2169。温泉まであり、本

お茶飲み話に花を咲かせる憩いの家の入居者＝十日町市松之山天水越



完成した高齢者憩いの家。一般住民が利用できる温泉も併設されている